

原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について (2014年4月 検針分)

2013年11月～2014年1月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。
原料費調整制度に基づき、以下のとおりガス料金単価の調整を行うことになりました。

● 4月の一般ガス供給約款における従量料金単価

① 平成26年3月31日以前から継続してガスをお使いのお客さま (消費税率5%)

消費税法等の改正に伴い、平成26年4月1日から消費税率が5%から8%に引き上げられますが、平成26年3月31日以前からガスをご使用していただいているお客様の4月分ガス料金(4月検針分)につきましては、消費税法の経過措置にもとづき、消費税率5%を適用いたします。

I. 一般ガス供給約款料金における従量料金単価(調整単位料金)

3月検針分従量料金単価と経過措置を適用した場合の4月検針分従量料金単価(消費税率5%)を比較したものです。
単位:円/㎡(消費税込)

	2014年3月 (A)	2014年4月 (B)	(B)-(A)
A料金表(0㎡～24㎡)	245.6255	249.7310	4.1055
B料金表(24㎡を超える)	189.2429	193.3484	4.1055

II. 従量料金単価の調整(調整単位料金)

調整単位料金 = 基準単位料金 + 0.085 × 原料価格変動額 ÷ 100円 × (1 + 消費税率5%) 単位:円/㎡(消費税込)

	(A) 基準単位料金(消費税率5%)	(B) 4月検針分 従量料金単価(調整単位料金)	(B)-(A) 調整額
A料金表(0㎡～24㎡)	228.4895	249.7310	21.2415
B料金表(24㎡を超える)	172.1069	193.3484	21.2415

III. 標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

単位:円(消費税込)

1ヶ月分使用量(㎡)	2014年3月 (A)	2014年4月 (B)	影響額(B)-(A)
26	6,992	7,099	107

計算式・・・基本料金(税込) + 従量料金単価(税込) × 使用量 (1円未満の端数は切捨て)

② 平成26年4月1日以降からガスをお使いのお客さま (消費税率8%)

I. 一般ガス供給約款料金における従量料金単価(調整単位料金)

消費税率引き上げ後の料金(税率8%)に調整額(同8%)を加えた料金を適用します。 単位:円/㎡(消費税込)

	2014年4月
A料金表(0㎡～24㎡)	256.8662
B料金表(24㎡を超える)	198.8727

II. 従量料金単価の調整(調整単位料金)

調整単位料金 = 基準単位料金 + 0.085 × 原料価格変動額 ÷ 100円 × (1 + 消費税率8%) 単位:円/㎡(消費税込)

	(A) 基準単位料金(消費税率8%)	(B) 4月検針分 従量料金単価(調整単位料金)	(B)-(A) 調整額
A料金表(0㎡～24㎡)	235.0178	256.8662	21.8484
B料金表(24㎡を超える)	177.0243	198.8727	21.8484

III. 標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

単位:円(消費税込)

1ヶ月分使用量(㎡)	2014年3月 (A)	2014年4月 (B)	影響額(B)-(A)
26	6,992	7,302	310

計算式・・・基本料金(税込) + 従量料金単価(税込) × 使用量 (1円未満の端数は切捨て)

● 平均原料価格

単位:円/トン

(貿易統計値)	2013年10月 ～ 2013年12月	2013年11月 ～ 2014年1月	基準平均原料価格
LNG平均価格	81,080	85,370	62,680
LPG平均価格	92,210	101,340	
平均原料価格	81,960	86,510	

平均原料価格 = LNG平均価格 × 0.9533 + LPG平均価格 × 0.0506 (10円未満端数四捨五入)

※平均原料価格が100,290円以上となった場合は100,290円

原料価格変動額 = 平均原料価格 - 基準平均原料価格 (平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき)

= 86,510 - 62,680 = 23,800 円/トン (100円未満端数切捨て)